

夏期テキスト

必修編

国語

中学 **1** 年

小説(場面・出来事・展開)や
漢字の組み立て等の問題集

中1国語 | 中学夏期テキスト[必修編]

基本問題

◆◇◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問1 場面 この文章の場面は誰がどうしている場面ですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

□□□□の生まれた□□□□を父親と二人で□□□□で訪ねている。

問2 情景 — 線 —

「とありますが、この情景描写についての説明として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「わたし」が田舎の風景にうっとりしている様子を描いている。
- イ 車の動きに合わせて「わたし」が見ている風景を描いている。
- ウ これから行くお寺に次第に焦点が絞られるように描いている。
- エ ガラス越しの風景が別の世界の出来事であるように描いている。

問3 出来事 この文章に描かれている出来事の説明として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 父親が娘に母親の若い頃の姿を誇っている。
- イ 父親が娘の生まれた町の記憶を確かめている。
- ウ 父親が娘の前で昔の生活の思い出に浸っている。
- エ 父親が娘に隠していた昔の生活を教えている。

問4 場面 この文章の場面が転換しているところの初めの五字を抜き出しなさい。

□□□□□

**演習問題**

▼▼ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

SAMPLE

問1 登場人物 文章中に現れる主な登場人物を四人抜き出しなさい。ただし、名前がわかる人物は名前で書きなさい。

()

問2 場面の様子・内容理解 — 線① 「とありますが、どんなことに」 のですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア しばらく見ない間に自分の子どもたちが地元の子どもたちとても仲良くなっていたこと。
- イ 子どもたちに大きなトラックを見せて驚かせてやろうと思ったのに「わたし」がぼんやりしていること。
- ウ トラックに「わたし」が乗らないうちに地元の子どもたちが次々と遠慮なく乗りこんだこと。
- エ 夏休みの間に子どもたちが地元の子どもたちと元気に遊びすっかりたくましくなっていたこと。

問3 出来事 — 線② 「とありますが、」 とはどんなことを指していますか。その内容を具体的に三十字以内で書きなさい。

問4 内容理解 — 線③ 「とありますが、どんな実感がわいたのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 前に住んでいた岡山に帰って、また以前の暮らしができるという実感。
- イ ばあちゃんのところへ来たときと比べて荷物が増えたという実感。
- ウ すぐに岡山に帰れるということ^{すなわち}を素直に喜んでいるのだという実感。
- エ 荷物が詰まったリュックを持って岡山に帰れるのだという実感。

問5 展開・内容理解 — 線④ 「とありますが、「ハツとした」理由を三十字以内で書きなさい。

問6 内容理解 — 線⑤ 「とありますが、その理由を説明した次の文の□に当てはまる言葉を、三十字以内で書きなさい。「わたし」を見つめるばあちゃんが目が、

と伝えようとしているように思われたから。

問7 場面 登場人物のいる場所に着目してこの文章を二つの場面に分けるとすると、後半はどこからですか。後半の初めの五字を抜き出しなさい。

--	--	--	--	--

補講 コミュニケーション・表現

① 次の文章は、「将来の夢」についてのスピーチ原稿の一部です、これを読んで、後の問いに答えなさい。

私の将来の夢は、幼稚園の先生になることです。私は、小さな子供と一緒に遊んだり、歌ったり、絵本を読んだりすることが大好きです。そんな私ですが、幼稚園入園当初、母と離れる不安から、何日も泣いてばかりでしたが、泣いてばかりの私を優しい笑顔で「大丈夫よ。」と励まし続けてくれたのが、幼稚園の年少組の先生でした。あのとときの先生の優しい笑顔のおかげで、私は集団生活の第一歩を踏み出すことができました。こうした自分の体験を生かして、私も ような幼稚園の先生になりたいと思います。

問1 書き換え —— 線①「私の将来の夢は、幼稚園の先生になることです。」を、聞き手の興味をより引きつける表現に書き換えなさい。

問2 書き換え —— 線②「幼稚園入園当初」を聞き取りやすい表現に変え、「幼稚園に」に続けて十字以内で書きなさい。

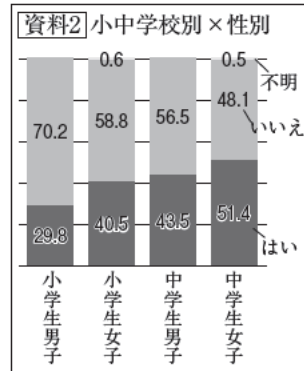
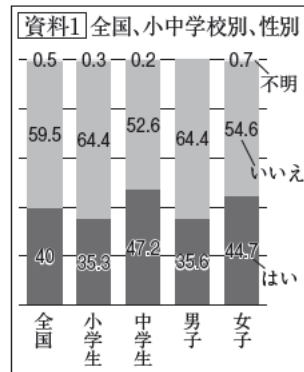
問3 体験 文章中から体験を述べている連続する二文を抜き出し、初めの五字を書きなさい。

問4 内容理解 文章中の に当てはまる言葉を考えて書きなさい。

幼稚園に

② 次の資料を見て、後の問いに答えなさい。

自分用の携帯やスマートフォンを持っている



(「子供の四季を通したふだんの生活と施設利用に関する調査」国立青少年教育振興機構H30)

問1 資料の読み取り 右のグラフは、何の保有率を表したものでしょうか。

問2 資料の読み取り 二つの資料から読み取れることをまとめた次の文の に当てはまる言葉や算用数字を、それぞれ書きなさい。

・全国の保有率は 割、男女の保有率を比べると、男子全体では %で、女子全体の %より 。小学生、中学生ともに の保有率が、 より高いことが読み取れる。

問3 資料の読み取り 資料2から読み取れることとして正しくないものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 小学生と比べて保有率が最もアップしたのは中学生男子である。
- イ 中学生になると女子の半数は携帯かスマートフォンを持っている。
- ウ 小学生男子は七割以上が携帯もスマートフォンも持っていない。
- エ 小学生女子の保有率は、全国の保有率より低い。

言語

1

漢字の組み立て・部首

漢字の読み書き 次の線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 宿題をスマス。
- ② オンセンに入る。
- ③ ユウビン物を出す。
- ④ 試合でフシヨウする。
- ⑤ 切りカブにすわる。
- ⑥ 新記録のジュリツ。
- ⑦ シンゾウが強い人。
- ⑧ 本をトジル。
- ⑨ ジュンキンの時計。
- ⑩ テンコをとる。
- ⑪ キンベンな人から。
- ⑫ チョウリユウの変化。
- ⑬ 強いイヨクを示す。
- ⑭ 原因をスイソクする。
- ⑮ ハイクをよむ。
- ⑯ 雪の多いチイキ。
- ⑰ 図をカクダイする。
- ⑱ ムネが苦しい。
- ⑲ キヌイトで縫う。
- ⑳ コウテツ製のドア。
- ㉑ シゴをつつしむ。
- ㉒ 成功をオサメル。
- ㉓ シヨメイを求める。
- ㉔ しずくがタレル。
- ㉕ 体質がカイゼンする。
- ㉖ 子供のタンジヨウ。
- ㉗ トウブンをひかえる。
- ㉘ ハラを立てる。
- ㉙ 知人の家をタブネル。
- ㉚ ツウヤクの仕事。

1 漢字の組み立て 次の漢字に共通する部首の種類を、後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 「室・究・芽・管」
- ② 「順・別・断・効」
- ③ 「進・起・建・延」
- ④ 「体・指・材・慣」
- ⑤ 「熱・光・志・照」
- ⑥ 「厚・庫・病・座」
- ⑦ 「固・術・開・医」

- ア あし
- イ たれ
- ウ つくり
- エ へん
- オ かんむり
- カ かまえ
- キ によ

2 部首 次の漢字の部首名を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 服

② 都

- ア こそとへん
- イ おおざと
- ウ つきへん
- エ にくづき

- ①
- ②

3 部首 次の二つの漢字にA共通する部首を書きなさい。また、Bその部首名を平仮名で書きなさい。

① 可 永

② 貝 半

③ 彦 豆

④ 央 免

A	A	A	A
B	B	B	B

言語 2 漢字の音訓

漢字の読み書き 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① イサンを残す。
- ② ズノウを働かせる。
- ③ 仕事のブantan。
- ④ シボウ事故を防ぐ。
- ⑤ ギロンが白熱する。
- ⑥ 対応にコマル。
- ⑦ 深いアナをほる。
- ⑧ バスのシャソウ。
- ⑨ 人気がかコウする。
- ⑩ カンタンな食事。
- ⑪ キチヨウ品を預ける。
- ⑫ シテンを変えて見る。
- ⑬ 課題をケントウする。
- ⑭ ヒテイ的な意見。
- ⑮ カイラン板。
- ⑯ 外国エイガの艦賞。
- ⑰ 産業カクメイ。
- ⑱ コキヨウに帰る。
- ⑲ ケンリを主張する。
- ⑳ たまねぎをキサム。
- ㉑ 校歌のカシ。
- ㉒ シュウキヨウの自由。
- ㉓ アフリカのシヨコク。
- ㉔ 料理を皿にモル。
- ㉕ フクソウを整える。
- ㉖ チュウジツな部下。
- ㉗ ムズカシイ問題。
- ㉘ いすをナラベル。
- ㉙ さいふをワスレル。
- ㉚ ヨクジツの朝。

1 音読み・訓読み 次の——線の漢字の読みを、音読みは片仮名で、訓読みは平仮名でそれぞれ書きなさい。

- ① A 直ちに B 実直
- ② A 重宝 B 重ねる
- ③ A 平静 B 平ら
- ④ A 覚める B 自覚

③ A	① A
B	B
④ A	② A
B	B

2 音読み 次の——線の漢字と同じ読み方をするものをそれぞれ下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 作業……ア 作詩 イ 作品 ウ 作用 工 作物
- ② 明晩……ア 明春 イ 明暗 ウ 明確 工 究明
- ③ 再興……ア 興味 イ 座興 ウ 余興 工 興亡

①

②

③

3 同音異字 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① 友達が書いた文章を英ヤクする。
 - ② 学芸会の出し物で主ヤクを演じる。
- ①
- ②

4 同訓異字 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① A メモを書きウツす。 B 場所を外にウツす。
 - ② A アタタかい部屋。 B アタタかいご飯。
 - ③ A 税金をオサめる。 B 国をオサめる。
- | | | |
|---|---|---|
| A | A | A |
| B | B | B |

言語

3

漢字の成り立ち

漢字の読み書き 次の線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① ウチユウへの旅。
- ② 慌てて道をアヤマル。
- ③ ユウシヨウ旗。
- ④ 服のスンポウ。
- ⑤ スナぼこりが舞う。
- ⑥ シュダンを講じる。
- ⑦ 荷物をトドケル。
- ⑧ 物語のハイケイ。
- ⑨ ケンボウの前文。
- ⑩ ハンチョウを選ぶ。
- ⑪ オサナイ兄弟。
- ⑫ 適切なシヨチを行う。
- ⑬ ロケットのハツシヤ。
- ⑭ ランボウな行い。
- ⑮ ヒハンを受ける。
- ⑯ 雨でエンキになる。
- ⑰ ナイカク総理大臣。
- ⑱ 同じケイレツの会社。
- ⑲ キビシイ寒さ。
- ⑳ サイバンが開かれる。
- ㉑ ジシヤクの性質。
- ㉒ シュウシヨク活動。
- ㉓ ごみを取りノゾク。
- ㉔ セイカをともす。
- ㉕ ビルのコウソウ階。
- ㉖ アタタカイ日が続く。
- ㉗ まちがいをミトメル。
- ㉘ コウフンした口調。
- ㉙ 足がボウになる。
- ㉚ 本のウラ表紙。

1 漢字の成り立ち

次の漢字について、A漢字の成り立ちを後のア〜エから、B同じ成り立ちの漢字をオ〜クから、それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 馬 ② 末 ③ 明 ④ 課

ア 二つ以上の漢字を組み合わせて新しい意味を表した会意文字。

イ 抽象的な物事を図形や記号で表した指事文字。

ウ 具体的な物の形をかたどった象形文字。

エ 意味を表す部分と音を表す部分からできた形声文字。

- オ 洗 力 林
- キ 羊 夕 下

③	A	①	A
	B		B
④	A	②	A
	B		B

2 漢字の成り立ち

次の漢字を組み合わせて、会意文字を四つ作りなさい。(ただし、漢字は一度しか使えません。)

- 〔山 力 鳥 人(イ) 田 言 口 石〕

□
□
□
□

3 漢字の成り立ち

次の形声文字を例にならって、A意味を表す部分と、B音を表す部分とに分けて書きなさい。

例 清 A シ B 青

①	飯	A		B	
②	寄	A		B	
③	効	A		B	
④	銅	A		B	

言語 4 慣用句

漢字の読み書き 次の線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 今後のホウシン。()
- ② 親友のソンザイ。()
- ③ 本のチヨシヤに会う。()
- ④ ミツドの濃い内容。()
- ⑤ テツキンの建物。()
- ⑥ タオルをホス。()
- ⑦ コクモツの輸入。()
- ⑧ 大きく息をスウ。()
- ⑨ 弱点をオギナウ。()
- ⑩ リンジ列車が走る。()
- ⑪ タイサクを練る。()
- ⑫ ソウサク料理。()
- ⑬ アブナイ場所。()
- ⑭ ジュウオウに動く。()
- ⑮ サンチョウの景色。()
- ⑯ 日本海のエンガン。()
- ⑰ 包帯をマク。()
- ⑱ ケイイをはらう。()
- ⑲ ジコ主張をする。()
- ⑳ ベツサツの付録。()
- ㉑ ザツシを買う。()
- ㉒ カンシユウの入場口。()
- ㉓ 機械がコシヨウする。()
- ㉔ セイジツな人なら。()
- ㉕ 器械タイソウをする。()
- ㉖ ケンチョウ所在地。()
- ㉗ 授業料をオサメル。()
- ㉘ マイスウをかぞえる。()
- ㉙ ホウリツを学ぶ。()
- ㉚ 天皇ヘイカ。()

1 慣用句 次の慣用句の意味として適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 虫が知らせる
 - ② 馬が合う
 - ③ 狐につままれる
 - ④ 油を売る
 - ⑤ 立て板に水
- ア よどみなく話す。 イ 意外なことにぼかんとする。
ウ 予感がする。 エ むだ話などをして怠ける。
オ 気が合う。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

2 慣用句 次の各組の慣用句の□に共通して当てはまる言葉を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① (□が痛い □を疑う □をそろえる)
- ② (□が出る □を洗う □をのぼす)
- ③ (□が痛い □が下がる □を抱える)
- ④ (□が低い □を入れる □が重い)

- ア 目 イ 手 ウ 足 エ 耳 オ 腰 カ 頭
- ①
 - ②
 - ③
 - ④

3 慣用句 ()の意味の慣用句になるように、次の□に当てはまる言葉を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① □が立つ (文章を書くのがうまい。)
- ② □に乗る (いい気になる。)
- ③ □に流す (何事もなかったかのようにする。)
- ④ □をさす (あらかじめ念を押す。)

- ア □ イ 釘 ウ 手 エ 筆 オ 水 カ 図
- ①
 - ②
 - ③
 - ④

言語

5

類義語・対義語

漢字の読み書き 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 胸がイタム。
- ② 顔をアラウ。
- ③ 新しいゲキジョウ。
- ④ カレーセンモン店。
- ⑤ アサバンの日課。
- ⑥ コウハクの旗。
- ⑦ ザセキを指定する。
- ⑧ 海底のシンピ。
- ⑨ タマゴを産む。
- ⑩ シセイを正す。
- ⑪ 楽団のシキ者。
- ⑫ スイカをワル。
- ⑬ ショウライの夢。
- ⑭ ジンアイの政治。
- ⑮ ギユウニユウを飲む。
- ⑯ はつとワレに返る。
- ⑰ ツクエを移動する。
- ⑱ ケイサツ官になる。
- ⑲ テンノウ陛下。
- ⑳ カイコを飼う。
- ㉑ 部屋のごみをステル。
- ㉒ ルールにシタガウ。
- ㉓ 江戸時代のシロの跡。
- ㉔ 平和をセンゲンする。
- ㉕ 人権のソンチョウ。
- ㉖ チンギンが上がる。
- ㉗ ハデな身なり。
- ㉘ カタホウの手ぶくろ。
- ㉙ マクを開ける。
- ㉚ コウゴウ陛下。

1 類義語 次の言葉が類義語になるように、□に当てはまる漢字一字を書きなさい。

- ① 同意 □ 成
- ② 原因 □ 由
- ③ 平易 □ 易
- ④ 用意 □ 備

2 対義語 次の言葉が対義語になるように、□に当てはまる漢字一字を書きなさい。

- ① 安全 ↓ □ 険
- ② 整然 ↓ □ 然
- ③ 増加 ↓ □ 少
- ④ 横断 ↓ □ 断

3 類義語 次の各組から類義語になる言葉をそれぞれ二つ選び、記号で答えなさい。

- ① [ア] 終生 [イ] 終点 [ウ] 一生 [エ] 永住
- ② [ア] 厳格 [イ] 実直 [ウ] 誠実 [エ] 短気
- ③ [ア] 運命 [イ] 義務 [ウ] 使命 [エ] 任務
- ④ [ア] 看病 [イ] 看破 [ウ] 看視 [エ] 看護

4 対義語 次の言葉の対義語を漢字で書きなさい。

- ① 延長 ↓ □
- ② 目的 ↓ □
- ③ 抽象 ↓ □
- ④ 保守 ↓ □

言語 6 言葉の単位(文節)

漢字の読み書き 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 病人をカ|ンゴ|する。
- ② モケイの飛行機。
- ③ ワカイ人々。
- ④ ギターのエン|ソウ|。
- ⑤ カチ観を共有する。
- ⑥ 計画のコ|ッ|シ|。
- ⑦ 新しいレイ|ゾウ|庫。
- ⑧ 詩のロウ|ドク|。
- ⑨ 文明のキ|ゲン|。
- ⑩ キタクする時間。
- ⑪ お墓に花をソナ|エル|。
- ⑫ 本をジユク|ドク|する。
- ⑬ 会がハッ|テン|する。
- ⑭ ハイカツリ|ヨウ|。
- ⑮ コクホウの仏像。
- ⑯ 自然界のイ|ヘン|。
- ⑰ ハイイロの空。
- ⑱ 自分の目をウタ|ガウ|。
- ⑲ ハゲシイ運動。
- ⑳ 親コウ|コウ|をする。
- ㉑ シキユウ返事をする。
- ㉒ 幸せのシヤク|ド|。
- ㉓ 社会のシユク|ズ|。
- ㉔ ジョウキ機関車。
- ㉕ 布を青くソメ|ル|。
- ㉖ 読みたい本をサ|ガス|。
- ㉗ ヤトウの議員。
- ㉘ 日の出をオガ|ム|。
- ㉙ 悲しみにク|レル|。
- ㉚ ドウメイを結ぶ。

1 文節 次の各文を例にならって/で文節に分けなさい。
例 家族で/海に/行く。

- ① テーブルの上に本がある。
- ② 高速道路を車が走っていく。
- ③ 運動した後でゆっくり休憩した。
- ④ 庭の木がきれいな花をつけた。
- ⑤ 山の上の建物が僕たちの学校だ。

2 文節 次のうち、正しく文節に分けられているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 荷物/は/すべて/家/の/中/で/ある。
- イ 荷物/は/すべて/家/の/中/である。
- ウ 荷物は/すべて/家/の中/である。
- エ 荷物は/すべて/家/の中/である。

3 文節 次の各文はいくつの文節からできていますか。算用数字で答えなさい。

- ① 隣の庭は広い。
- ② 荷物を積んだトラックが到着した。
- ③ 昨日は一日中とても暑くて大変だった。
- ④ おもしろかったね、君が貸してくれた本は。

① ② ③ ④

ヒント

文節：意味のまとまりを考えて、不自然にならないように小さく区切ったひとまとまり。文節で区切るときは、「ネ」を付けて確かめてみる。「……て(て)……」は、「て(て)」の後が別の文節である。

言語 7

言葉の単位(単語)

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 一日中、曇天だ。
- ② 僕の宝物。
- ③ 幼稚なふるまい。
- ④ 新しい服が欲しい。
- ⑤ 父は頑固だ。
- ⑥ 一生懸命に走る。
- ⑦ ていねいに描写する。
- ⑧ 手が荒れる。
- ⑨ 白いソファに座る。
- ⑩ 優秀な成績。
- ⑪ 努力が水の泡だ。
- ⑫ 新聞に連載する。
- ⑬ 日づけを確認する。
- ⑭ 味つけを工夫する。
- ⑮ よい感触を得る。
- ⑯ 誰も事実を知らない。
- ⑰ 砂丘が広がる。
- ⑱ 貧血てたおれる。
- ⑲ 長ぐつを履く。
- ⑳ 背丈が変わらない。
- ㉑ フツウの人々。
- ㉒ 光景が目にかぶ。
- ㉓ 手に汗をニギル。
- ㉔ 葉の色がチガウ。
- ㉕ シンセンな魚。
- ㉖ チコクしそうになる。
- ㉗ スイッチをオス。
- ㉘ 会場がカンキにわく。
- ㉙ 食欲がフシンだ。
- ㉚ 木のかげにカクレル。

1 単語 次の各文を例にならって/で単語に分けなさい。

例 家族/て/海/に/行く。

- ① 川の向こうに美しい花火が見える。
- ② 疲れているのに彼は練習を休まない。
- ③ 公園のベンチに日が当たっている。
- ④ 午後からしばらく図書室で勉強する。
- ⑤ 意味がわからない語を辞書で調べる。

2 単語 次のうち、正しく単語に分けられているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 白い/雪/が/ゆっくりと/降ります。
- イ 白い/雪/が/ゆっくりと/降り/ます。
- ウ 白い/雪/が/ゆっくり/と/降ります。
- エ 白い/雪/が/ゆっくり/と/降り/ます。

3 単語 次の各文はいくつの単語からできていますか。算用数字で答えなさい。

- ① 自転車で風を切って走る。
- ② 海と山では私は山が好きだ。
- ③ お寺の長い階段を一気に駆け上がる。
- ④ 遠いかなたの宇宙船から信号が届いた。

①

②

③

④

ヒント

単語：それ以上区切ると意味がなくなる最小の単位。「行く」が「行って」になると「行つて」と二語になる。複合語は一語と数える。例「書道教室」「話し込む」

弊社サンプルをご覧いただき、
ありがとうございました。



紙面サンプルは ここまでです！

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ見本*と目次をご覧いただけます。

※一部教材を除く

会員登録はこちら



Bunri Teachers' Site とは？

株式会社文理が運営する、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

文理の教材紹介



デジタルサービスや
テストのお申込み



教育情報の発信



オンラインセミナー
のお知らせ

